

VPSとVPS上のネットワークを 考える

Echigo BSD Users Group
33rd Meeting@Haradaya
神保道夫(@karl0204)

最近の仮想化事情

- VMware ESXiやCitrix XenServer、Microsoft HYPER-Vなど、無償での仮想化環境が構築可能。(自宅サーバーの仮想化は、CPUやNIC、HDDなど、ハードウェアさえ対応しているものが準備できれば、ライセンス登録さえすればタダで利用できる)
- ただし、仮想化サーバー上で保障されるOSはWindowsやLinuxなどが大多数。FreeBSDで動かそうとすると、意外とはまるのも事実(前回の勉強会資料にて紹介済み)。

今年に入ってからトレンド

- ServersMan@VPS、SaaSなど、激安のVPS(Virtual Private Server)が登場。
- VPSの場合、root権限が貰え、HDD 10GB、メモリ256MBなどの容量で、月額500円以内と、いわゆるワンコインVPSなので、お手軽に評価可能。
- それに伴い、大手VPSも無料キャンペーンを打ち出しており、いろいろ評価できる。

各社激安VPSのテスト結果

- 結論:個人サーバーや中小規模の用途には使えるかもしれないが、本格的に使うにはちょっとつらいかなー、という感じ。
- OSは事実上CentOS一択状態。オプションでWindowsやFreeBSDが用意されている場合もあるが、有償対応になったりする。
- ネットワーク機能に関しては、制限が多い。
- 次ページにて、私の評価した3サーバーを紹介。

ServersMan@VPS

- 提供元: DTI
- 激安VPSサーバーとして一躍脚光を浴びるも、その後の評判は???
- 理由: 最初に提供された490円プランが、リソース制約がきつすぎるところに、パワーユーザーがなだれ込んでしまったため、悪評判だけが残ってしまい、その後のプラン展開に影響を残してしまった。
- コントロールパネルは、充分使えるレベル。
- ただ、IPv6アドレスが普通に使えるのはちょっとインパクトあり。ただし、上位とのトランジットはトンネルを使っていたりする。
- Tunnel deviceは当初つかえらるとおもっていたが、実は使えなかった。サポート予定とは聞いているが、いつになるのか?
- ホストOS: OpenVZ?
- サポートOS: CentOS、各種アプリケーションとの連携あり。メモリ256MB～、HDD 10GB～、IPv4/IPv6 1個、月額 490円～。評価期間は2か月。

SaaSes VPSサーバー

- 提供元: 日本ラッド
- ServersMan@VPSに隠れたところで、450円でサービスを開始していたことが発覚。サポートにVPN接続について聞いたら、「テストしていないので自分で検証してほしい」との事で契約してみる。
- とりあえずIPSec GREは、FreeBSDのサーバーと張れることは確認済み(2010/06/18現在)。IPv6も真面目に設定すれば使える。Packetix VPNも使える。結構いいじゃん。更に、秋頃にIPv6サポート計画中とのこと。
- ただし、IPIP tunnelやsitデバイスは現状利用不可。IPSec GREは使えるだけに、なぜこのような扱いをしているのかは謎。
- 管理には、Webminを採用するなどしてコストダウンをしている?
- ホストOS: Xen
- サポートOS: CentOS 64bitが基本だが、他のOSも有料でインストール可能。メモリ 512MB～、HDD 10GB～、初期費用 3000円、月額 450円～、IPv4 1つ(オプションで5つまで可)。評価期間 2週間。

CPI VPSサーバー

- 提供元: KDDI ウェブコミュニケーション
- Twitter経由(@tomocha)で、CPIが無料で使えるキャンペーンをやっていることを教えて貰ったので、ダメもとで募集したらなぜか当選◎
- 豊富なユーザーインターフェースを持ち、リソースの制限もごく普通。
- ただし、トンネルデバイスは使えないので、基本はサーバー用途。
- 個人で利用するには、月額料金がちと高いのでそこが難点。タダでなかったら契約は躊躇しちゃう。どちらかというとな般管理者向け？
- これから詳細評価予定なので、しばしお待ちを。
- ホストOS: CentOS 64bit+Virtuozzo
- サポートOS: CentOS 32bit、メモリ 320MB～、月額 1575円～、IPv4 2個。評価期間は2週間。

各VPSで怖いこと

- セキュリティーを高めようとして、Linuxのiptablesを書き換えたりした際に、ルールを間違えると、どうにもならなくなる。
- コンソールは手元がないので、たとえばシングルユーザモードで立ち上げないとできない作業は、お願いしないとイケない。その時にお金がかかるかどうかは別。
- 高いところは、バックアップ等もしっかりしているが、安いところはそれなりのバックアップしかない場合も。

激安VPSの用途は？

- 静的コンテンツ用のWebサーバーとしては、問題ないだろう。回線容量は割とあるので、自宅サーバーを持っていて、Webサーバーのトラフィックを逃がす目的にはベストかも。
- DNSのセカンダリとして使うのも行けるだろう。ただしbindはメモリ食いになる恐れもあるので、nsdあたりを入れるのも手。
- メールサーバーとして使うには、どうかな???
Gmailとかは保存容量が数GBオーダー。いったん受け取って、そのまま転送する用途に使うのなら行けるかな？

で、結局どこがいいの？

- <http://www.serverdb.info/list/rental-vps.html>
- <http://www.server-search.jp/>
- kakaku.com みたいな、レンタルサーバーの比較サイトがあった。
- とりあえず比較サイトで値段はわかるが、詳細なネットワーク情報とかリソース情報は、各社のWebサイト「でも」わからないことが多い。「未確認」なのか「非対応」かを見極めることが重要。不明なら問い合わせないと情報が出てこない。既に利用している人から情報を集めるとよいかも。
- Twitterを活用しているところも多く、技術的なツッコミを入れると、窓口を紹介してくれたりもする。
- 無料のお試し期間を設けているところも多いので、実際に使ってみるのもよし。
- メモリリソースを食いつぶすと、そのままデーモン類が落ちる場合もあるので、リソース把握は常に必要。
- とはいえ、ハウジングサーバーのような完全自由度はないので、そこを割り切ってしまうえば、充分使えると思う。

参考URL

- ServersMan@VPS(<http://dream.jp/vps/>)
- SaaSes(<http://www.saases.jp/vps/>)
- CPI(<http://www.scalable.jp/>)
- 自ブログ(<http://karl0204.at.webry.info/>)